

若者のチカラ

地域の中には、地域のために活躍する“若者”がたくさんいます！今号では、地域で活躍する若者たちをご紹介します！

なにかし堂

●一人ひとりの思いを大切に場所

「何かをやってみたい」「ちょっと違うんだよな」・・・なにかし堂は、そんな思いを大切にできる空間で、一人ひとりの気持ちが行動となっていく起点になればとスタートしました。図書館になったり、子どもの秘密基地になったり、趣味の活動室になったりと、使う人によって果たす役割が変わる、そんな自由な空間です。

●こんな活動が生まれました

「対話イベント」

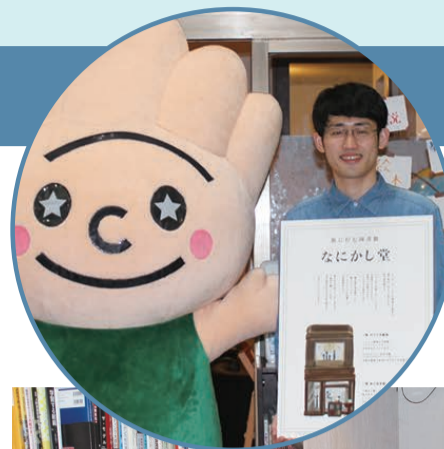
中高生や教師、社会人などが教育について対話とオンラインを取り混ぜて毎月一度開催。特定のテーマについて語り合い、相手の立場を理解する場になっています。

「無料の夏期講習(理科実験)」

学校の勉強が苦手な子を対象に行いました。学校ではコロナの影響で理科の実験時間が削られているとのこと。理科の実験が楽しいものであることを知ってもらおうと、実験ができる場を作りました。

●お気軽にお立ち寄りください

初めての方は入口の前を行ったり来たりしてから入ってこられます(笑)。営業回りの方が立ち寄って、休憩後に「また頑張ってください」と出かけて行かれることもあります。お子さんたちが立ち寄ることも多く、保護者の皆さんとも信頼関係を築けるよう努めています。なにかし堂での出会いが、さまざまな方々のチャンスが生まれることにつながればと思い活動しています。ぜひ一度お立ち寄りください。



野口貴裕さん



教育系活動団体EGGS(イーグス)

●誰もが何かを得られるチャンスを

イーグスは、中学生の都立高校入試の指導をする「日曜ゼミ」を中心とした活動を行っています。「参加者誰もが何かを得られるチャンスを提供したい」という考えで、中高生、大学生、社会人それぞれが互いにに関わり合いながら活動しています。

●家や学校、塾では得られない経験や関係

イーグスは日曜ゼミでの経験を活かした活動を展開しています。スタッフの多くは日曜ゼミの卒業生。都立高校入試合格を目指して取り組んだ経験を「後輩に伝えたい」と帰ってきてくれているのです。日曜ゼミでしか得られない貴重な経験を自分のものにしてほしいとの思いから、活動を始めました。

●地域の行事や子ども食堂のお手伝いも

日曜ゼミの他にも、社会人との対話会や地域でのボランティア活動などにも取り組んでいます。特に尾久ふれあいの行事には多くのスタッフが参加しています。また、子ども食堂などでの学習支援ボランティアとしてのお手伝いもさせていただいています。

●中学生とボランティア大歓迎！

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、さまざまな制約を受けながらも、可能な限り通常活動を行えるように取り組んでいます。参加したいという中学生や、ボランティアをしてみたいという方、ぜひご連絡ください。



加藤 颯さん

大本航慎さん

